

各団体の活動マップ

駒場野公園では、様々な主体の団体が公園運営に関わっています。2020(令和2)年度現在の活動エリアをご紹介します。(公園活動登録団体、区の講座活動のみを記載)



【炭焼きの風景】



公園に関わる団体の紹介

駒場野公園は、地域の住民の皆さんに支えられ、運営されています。ここでは公園に関わる団体の皆さんの活動などをご紹介します。

駒場住区住民会議

【活動内容】

住区内に住む人々や町会・自治会、PTA、商店会、様々な地域の活動団体をはじめ、事業者やそこに働く人々などの参加によって組織され、規約に基づき自主的に運営されています。政治的、経済的(営利的)、宗教的目的を持たない住区内の誰もが参加できる開かれた住民組織です。

話し合いを行うだけでなく、住区のニーズに合った特色ある活動を推進し、こまばのまつりや、文化・スポーツ活動、子ども達とのスイカ割りや焼き芋大会、前橋市富士見町との都市農村交流事業等を行なっています。

また、駒場住区センター会議室等の利用申請の受付、使用料の徴収等も行っています。

【公園とのかかわり】

ケルネル田んぼの存続など公園の設立に大きくかかわり、後述の駒場野ホテルの会やこまばリボンクラブの母体となっています。こまばのまつりやかかしコンクールを主催しています。

駒場町会

【活動内容】

地域の住民により自主的に形成された「住民による自治組織」です。住民相互の親睦を深めることのほか、身近な環境を良くするために、地域住民がお互いに助け合いながら、さまざまな取り組みを行っています。

安全で安心なまちづくりのため、防犯カメラや私道防犯灯の設置・維持管理、防犯・防火パトロール、防災訓練、交通安全啓発活動等を行っています。

きれいで快適な生活環境を維持するため、道路や公園の清掃や草刈りなどの環境美化活動や資源のリサイクル活動を行なっています。

夏の祭礼や、敬老行事やラジオ体操などを実施して、地域の住民相互のふれあいや、子どもから高齢者の方までの世代間交流を図っています。

生活に欠かせない町会の情報や、区や関係機関からの情報について、回覧や掲示板等でお知らせしています。



こまばのまつり



こまばのまつりでのフラダンス



ケルネル田んぼに並べられたたかかし



スイカ割りの様子

野の花クラブ(グリーンクラブ)

【設立】

1986(昭和61)年(自然クラブの1部門として設立)～現在

【活動内容】

毎月第1・第3日曜日に、区内に緑や野草を増やし、さらに緑あふれる目黒区となるよう活動します。年間を通じて駒場野公園内にある「野草園」を維持管理します。

【公園とのかかわり】

野草園内で開園時からの野草を維持管理し、四季折々の野草を多くの方に紹介することで、緑を育てることの楽しさを知ってもらう機会を提供します。野草の魅力積極的にアピールしていきます。



野草の観察・記録



野草園の手入れ

駒場野ホタルの会

【設立】

1991(平成3)年～現在

【活動内容】

里山のシンボルであるホタルの飼育や観察会をはじめ、資源の循環利用として炭焼きを開催したり、炭を利用して水辺環境の改善などの活動を行います。また、こまばのまつりへの参加や近隣の学校の授業対応等、幅広い活動を行います。原則として毎週水曜午前中に活動しています。

【公園とのかかわり】

かつて野生のホタルが生息していた駒場野公園も、時代の変化と共にその姿は消えました。環境が大きく変わっても、人と自然が共存できる環境について考えるきっかけとなるような活動に重きを置きます。駒場野公園に関わるさまざまな組織や地域の架け橋となる団体です。各団体との連携をさらに図りながら、地域の方の自然環境への関心を高められるように活動したいと考えています。



ヘイケボタル幼虫の世話



炭焼き体験の風景

こまばリボンクラブ

【設立】

1996(平成8)年～2014(平成26)年(こまばリサイクルの会)

2015(平成27)年～現在

【活動内容】

ごみの削減や資源の有効活用を目指して、家庭の生ごみをたい肥化する活動をします。駒場野公園内にある環境学習施設で作ったたい肥を、区内の花壇や畑づくりに利用する取り組みをします。毎月第2・4水曜日と第1・3土曜日に活動しています。

【公園とのかかわり】

身近な地域の環境保全と資源の有効活用を目的に、公園内の環境学習施設を主な活動場所として、家庭の生ごみのたい肥化を行っています。完熟たい肥は、公園活動登録団体に提供したり、会員が各自持ち帰り、樹木や草花に施肥をし、花と緑のまちづくりに貢献しています。



たい肥づくり



たい肥づくり

森のみどり人

【設立】

2004(平成16)年～現在

【活動内容】

毎月第1・第3土曜日に、樹木の手入れや下草刈り、落ち葉かき等を行い公園の里山環境の維持管理をしています。また炭焼きを実施するにあたり、炭の材料(炭材)となる樹木の伐採をします。園内の雑木林に多く見られるスミレ群落の調査も行います。

年2回、目黒区「花のみどり人」講座の講習を通して駒場野公園の魅力と活動体験を後進に伝えていきます。

【公園とのかかわり】

定期的に樹林地や草地に手を入れることで、健全な雑木林を育むことができます。伐採した樹木が萌芽更新して次に伐採できるまでの成長の期間を管理したり、下草が繁茂しすぎて単調な植生とならないように管理することは、さまざまないきものが生育・生息する場を作ることに繋がり、公園の生物多様性を保つ重要な役割となります。森のみどり人は、そうした維持管理の一端を担う団体です。



雑木林の下草刈り



樹木の伐採

駒場野バラグリーンクラブ

【設立】

2008(平成20)年～現在

【活動内容】

拡張部の扇形花壇でバラを育てる活動をしています。

【公園とのかかわり】

拡張部の扇形花壇を活用しています。バラの栽培や管理を通じて、公園に親しみを持つことや園内の自然に目を向けるきっかけづくりを担います。



扇形花壇の手入れの様子

駒場小学校グリーンクラブ

【設立】

2011(平成23)年～現在

【活動内容】

年3回(5,11,2月)配布の花苗の植え付け、管理をしています。

【公園とのかかわり】

正門から入った園路沿いを花壇として活用しています。花の管理を通じて公園に親しみを持つことや、園内の自然に目を向けるきっかけづくりを担います。



花壇の様子

駒場プレーパークを作る会

【設立】

2017(平成29)年～現在

【活動内容】

毎月第1月曜日に、地域の乳幼児、学童、保護者同士の交流を目的として、駒場野公園を拠点に、子供主体の自由な外遊びのイベントを開催しています。どろんこ遊びや火おこし、水遊び、季節の自然探し等を実施しています。

【公園とのかかわり】

デイキャンプ場を活用して皆で食事を作って食べたり、駒場住区の行事にも参加しています。

公園の恵みを使った遊びを通じて公園に親しみを持つことや、地域の子供たちの成長を見守る活動を続けています。



活動の様子

駒場野ファーマーズ

【設立】

2018(平成30)年～現在

【活動内容】

拡張部入り口に作られた畑で無農薬野菜を育てています。

【公園とのかかわり】

無農薬での野菜の栽培や管理を通じて公園に親しみを持つことや、園内の畑など里山活動に目を向けるきっかけづくりを担います。



拡張部に作られた畑

自然クラブ

【設立】

1986(昭和61)年～現在

【活動内容】

子供たちを中心として、駒場野公園の雑木林管理やいきもの観察等、四季折々の自然を身近に感じながら、自然の楽しさや大切さを発見する活動を行い、自然観察のリーダー育成を図ります。

【公園とのかかわり】

駒場野公園の自然の豊かさを体感するプログラムを実施します。七草摘みや活け花、草木染め、野鳥巣箱の設置、木こり体験、キノコの菌打ち体験等、駒場野公園ならではの活動を年間を通じて開催しています。また、里山活動として行う雑木林の下草刈りや落ち葉かき、そだ柵づくり等は、公園の自然環境を維持していくことを学ぶ実践の場となります。

自然に触れ合うことによって、人と自然が共存する社会の在り方を学ぶことができます。また、公園を舞台に雑木林の管理やいきものの観察といった活動が参加した子供たちの原体験として、将来地域に大きく貢献することが期待できます。



木登りする子どもたち



クモ観察会の様子



草木染めの様子



落ち葉ンクで遊ぶ様子

駒場児童館

【活動内容】

乳幼児、学童保育と、その保護者を対象とした集い活動も行っていきます。

【公園とのかかわり】

日常的に駒場野公園内で遊んだり、こまばのまつりでは自然観察舎スタッフが児童館内でも実施されているブースに参加するなど、学童保育と自然観察舎の連携を維持し、継続します。



児童館内で行われるこまばのまつりのプログラム

筑波大学附属駒場中・高等学校

【沿革】

1947(昭和22)年:東京農業教育専門学校附属中学校として開校
1952(昭和27)年:東京教育大学附属駒場中学校・高等学校と改称

1978(昭和53)年:筑波大学附属駒場中学校・高等学校と改称
2004(平成16)年:国立大学法人筑波大学附属駒場中学校・高等学校となる

【活動内容】

学業・学校行事・クラブ活動など

【公園とのかかわり】

開校時から、ケルネル田んぼでの水田維持や稲作を実施し、継続しています。

田んぼでの活動を通じて地域の生物多様性保全や食文化等伝統文化の継承、持続可能な社会に目を向けた活動の場としての活用を考えています。



ケルネル田んぼでの田植え



ケルネル田んぼでの稲刈り



園内での課外授業(都立国際高等学校)

自然観察舎

【設立】

1996(平成8)年～現在

【活動内容】

多様な生きものの展示や解説、イベントの実施、自然クラブの運営等、公園の自然環境の大切さを広く来園者に周知できるように活動を行っています。また、ボランティア活動をする際の安全管理等、活動支援も行っています。

【公園とのかかわり】

公園の自然観察や環境学習の場であり、ボランティア活動の拠点となっています。

公園のテーマである里地・里山という自然環境の保全活動の指針についてボランティアや区と調整・検討し、維持管理活動をサポートしていきます。



外観



展示室

公益社団法人 目黒区シルバー人材センター

【沿革】

1978(昭和53)年:目黒区高齢者事業団設立

1980(昭和55)年:社団法人目黒区高齢者事業団の法人許可

1990(平成2)年:社団法人目黒区シルバー人材センターに名称を変更

2011(平成23)年:公益財団法人目黒区シルバー人材センターに改組

【活動内容】

公園等公共施設の管理、植木の手入れ、家事の手伝い、育児支援サービス等の事業を行っています。また、会員自ら立ち上げた事業として、パソコン・学習・書道・着付け・日本画の各教室があり、多くの区民の方が利用しています。

【公園とのかかわり】

園内の清掃、公園管理事務所(拡張部含む)等施設管理、樹木の手入れ、デイキャンプの予約受付や管理等を行っています。

自然観察舎や区と連携し、生物多様性の保全に貢献するような公園の自然環境管理の在り方について共同で検討・管理することが期待されます。



落ち葉ンクで作業



拡張部管理棟

目黒区

【公園とのかかわり】

主に、公園でのボランティア活動の支援や公園の維持管理などを行っています。

公園でのボランティア活動の支援では、活動やイベント実施にあたっての相談受付、資材提供、また、区とボランティア団体、維持管理受託者との話し合いの場である駒場野フォーラムの開催等を行っています。また、サクラ再生実行計画で提案した、地域の皆さんで地域の桜を守るためのボランティア活動(通称:桜守活動)の発足や支援を行い、地域の皆さんとともに駒場野公園の桜を後生に伝えていきます。

公園の維持管理では、公園内の広場・植栽・トイレの清掃、除草、草刈り、公園施設・遊具の点検及び修繕等、また、中高木の剪定、低木生垣の刈込みを行っています。

また、みどりの基本計画や生物多様性地域戦略などの整合性を図りながら、安全で快適な公園空間の維持を推進していきます。



庁舎



大池でのかいぼりの様子

